

「場を清め」「時を守る」大切さ



伝統として受け継がれている「北中静掃」。誤字ではなくて、無心になって取り組む結果、掃除の時間が「私語なく」静かであることを端的に言い表している造語でありスローガンです。一日の学業を終えて、使用した校舎、教室、廊下、トイレ等々を全校生徒、職員が一丸となって、場を掃き清め、校舎を磨き上げる活動に取り組んできました。その開始にあたっては、気持ちを切り替える一分ほどの「黙想」の時間があります。北中全体が静まり返る一瞬です。



カリヨンの鐘の音やチャイムが学校生活にメリハリをつける。加えて放送委員会のアナウンスや活動を促すBGMなどが学校生活を一層活気あるものにしてくれる。担当委員は「時間の正確さ」を確保するために、時計と睨めっこをして音声出力調整卓のフェーダーを操作したり、アナウンスを行ったりしている。腕時計をしていない中学生にとって、放送委員は学校生活の時の番人でもあるのです。

○残暑と言うより引き続き猛暑だった8月後半からスタートした二学期。85日間の二学期は、秋桜祭などもあり、長かったようであつという間だったかもしれません。成果を振り返り、新たな年の始まりに向けて、目標の確認など、決意を新たに、**1月8日(火)**には三学期の良いスタートが切れるようにしたいものです。

○インフルエンザ及び感染性胃腸炎の流行が報じられています。否が応でも人混みの中へという状況も予想される年末年始。外出後のうがい、手洗い等の基本的な予防策を確実に実践しましょう。